シニア　サポーター

会社務めを終えて、かれこれ１０年になろうとしています。
退職以来、趣味の会や勉強会等、様々な仲間達との交流を楽しんでおりますが、かねがね何か世の中のお役にも多少なりとも立ってみたいと思っておりました。

NET で NPO 法人”BLACKSOX”の「チャレンジテニス」という障害をお持ちのお子さん達とテニスを行う活動を知り、
赤いユニホームを頂戴して、日の出川公園テニスコート、学校の体育館、福祉施設、重症の障害児が通う横浜市立の特別支援学校等へ出掛けて、専用のネットを張り、専用のラケットとスポンジボールでのテニスのお相手をさせていただいております。

特別支援学校のお子さんの殆どは車いす若しくはキャスタ付特殊ベツトを使っています。黄色いスポンジボールが行き交うと、お子さん達の表情が生き生きとしてくるのです。
こちらも大きな声で思い切り褒めてあげたり、ハイタッチをしながらお互いに心が通い合うのを確かめたり、こうして汗をかくことの何と素晴らしいことか。

帰り道では都度、お子さん達から頂いたパワーの御蔭で元気でいられること、そして家内や、子、孫達が健康に過ごさせていただいていることに、心の中で「ありがとう」とつぶやくのです。

シニア　サポーター

これまで、大病を患う事なく元気に過ごして来た私は、
その事へ対しての感謝の念を日頃から抱いておりました。
そこで 辿り着いたのが、残りの人生 自分が出来る何かの形で、
社会へ向けお返しがしたいという事でした。

そんな折、ネット検索にて巡り合ったのが、NPO 法人 BLACKSOX のスポーツ ボランティアでした。
テニスを好み 常日頃、地元で楽しんでおりましたし、趣味が社会のために活かせるのであればと考え、参加を始めて以来 ３年目に入りました。
種々 福祉施設・各地 特別支援学校 等への訪問、並びに 日ノ出川公園 等で障害をお持ちの方々、健常のお子さん方をお相手に スポンジボールを手に活動しております。

初めの頃は思う様に打てなかったお子さんも、経験を積む事により 徐々に上達し、そして、笑みも・・・「 楽しんでくれている 」と実感した時はこちら側も沢山のパワーをいただいているのです。
微力ながらも お役に立てる事を嬉しく思い、身体の自由がきく限り 続けて行きたいと考えております。

昨年半ばより、日ノ出川公園チャレンジテニスには、５歳の孫を連れて行く事が多くなりました。
沢山のお友だちと触れ合いながら、テニスに慣れ親しんでくれたらとの発想からでしたが、途中で飽きてコートを駆けずり回る事も再三ありました。

ところが或る日 、指図もしていないのに、何気なくお友だちの側に寄り添いサポートしようとする姿を目の当たりにしました。
子供は、大人の仕草を目にして学び、そして、成長して行くのですね。
何方に対しても『 思いやる心 』を 大切に培い続けて欲しいと、密かに願う一場面でもありました。